

## 第2回二宮町町民活動推進委員会 議事録

日 時：令和2年8月24日（月） 18：30～20：00

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：手塚委員長、大河原副委員長、男成委員、岡本委員、伊達委員、志賀委員

【オンライン】 小林委員、豊田委員、山岡委員

事務局：地域政策課3名

傍聴者：－

### 1. 開 会

（事務局）定刻となりましたので、ただ今より第2回二宮町町民活動推進委員会を開催する。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部オンライン出席の対策を取らせていただいているほか、状況を踏まえて今回は傍聴無しとした。

第1回の会議は緊急事態宣言期間でもあったので、書面会議とした。

その書面会議において皆さまからご承認いただいた委員長と副委員長を改めて報告する。

委員長には手塚明美委員。副委員長には大河原隆史委員で決定した。

### 2. あいさつ

（委員長）マンネリ化しないように町民の皆さまが頑張っ一緒に動けるように、資金的な支援も含めて、いつも皆さまと一緒に意見交換をさせて頂いている。このような状況なので、様々な団体が個別の事案でお困りのこと、またはチャンスかもしれないと思っていると思うので、しっかりと寄り添った形でこの委員会を進めていきたいと思っている。引き続き皆さまのご協力をお願いしたい。

（事務局）本年度、委員の改選もあり、本日、村田町長に出席していただいた。

（町 長）夜の遅い時間にご参加いただき、感謝申し上げます。

ようやく、この時期になってオンラインでの参加もあるが、このような形で顔を合わせての会議ができることになった。

この間に様々な団体の方が「困っている方がいるからやってみよう」という形での活動をいろいろとスタートしているように感じる。その部分を補助金スタート支援で支え、その後どう継続していくかということが、これからの課題かと思う。本日、前年度の活動報告があり、今年度既に活動しているところもあるということなので、「この活動はどのような感じのものなのだろう」と興味持つものもあ

る。なるべく現場に行きたいと思う。是非、皆さまの活発なご意見・アドバイスを頂きたい。

(事務局) 議題に入る前に本日初めての会議となるので、自己紹介をお願いしたい。各委員の委嘱状については、前回の書面会議開催時に事前に送付させていただいている。

— 各委員、自己紹介 —

### 3. 議題

#### (1) 令和元年度町民活動推進補助金交付団体の実績報告について

— 事務局説明 —

(委員長) 昨年度の事業について報告があった。

一点、私から確認したいのは、領収書の件。どの団体も収支決算書には※印で「添付書類 領収書等」と書いてあるが、最初のこども学習支援「こむ」だけ書いていない。これは事務局で確認してあるということによろしいか。

(事務局) 領収書は全て確認している。

(委員長) 確認チェックの記載があると助かる。

今回のように団体のプレゼンテーションが無い時は特に丁寧をお願いしたい。ステップアップ支援とスタート支援で着眼点が異なってくるかと思うので、皆さんの意見を伺いたい。オンラインで参加されている委員については、挙手してほしい。

(委員) 今回のように書類で事務局が報告するという形は今年が初めてである。あくまでプレゼンテーションとセットで、という前提があると思うが、参加した人の声がよく分からない。例えば囲碁クラブや学習支援など、参加した子どもの意見が分からない。ステップアップ支援は今までの状況があるので良いが。「参加者の声」を書く項目を入れてもらえると良いかと思う。

(委員長) 小林委員(ラビッツクラブ湘南二宮)にお伺いしたいのだが、スタート支援をご経験されて今回、ステップアップ支援の申請をされているが、スタート支援のときにそのような「参加者の声」を書けたら良いと思ったか。

(委員) 我々の団体では独自に年に1, 2回参加者アンケートを取っている。報告の義務

が無かったので報告書には付けていないが、どこかのタイミングで参加者の声を報告できたら良いかと思った。

(委員長) スタート支援はこれからの活動になってくるので、外部の評価みたいなものを意識するような報告の仕方だと良い。

(事務局) 補足だが、前年度の委員の活動現場確認報告において、町民活動団体側と参加者から意見を伺ってくださいとお願いをさせていただいている。

例えば、前年度は10月の第3回町民活動推進委員会資料、現場確認報告書の中に参加者の声がかかれている。

今後は実績報告書の中にも入れていきたいと考えている。

(委員) 申請時のプレゼンテーションと報告会は全ての団体が対象ではないのか。

(委員長) 報告会には全団体に出席していただき、報告してもらおう。

(事務局) 補助金の申請時において、ステップアップ支援だけプレゼンテーションを行っていただく。スタート支援は書面での審査になる。

(委員) 小林委員(ラビッツクラブ湘南二宮)にお伺いする。たくさん子どもたちが活動しており、素晴らしいと思う。年間どれくらい活動していてメンバーが増えているのかが気になるので教えていただきたい。

また、事務局に聞きたいのだが「しお風」の決算の中に謝金がある。どのような講師にお金が払われているのかが分からない。そちらを教えてください。

(委員) 私を含めて運営側のスタッフは6名おり、それに加え指導のみのスタッフが2名である。運営側スタッフの年齢は30～40代で、指導者は年配の方である。フットサルに関しては町立中学校を卒業した大学生が手伝ってくれている。

(委員) 若い世代が活躍できるよう、ご尽力いただきたいと思う。

(委員長) 続いて謝金の質問だが「別紙のとおり」と書かれているので、何かあるのか。

(事務局) 領収者が一覧になっている。名目はツアーの中で地元食材を使った料理を提供しているが、その際の料理指導者に対するものである。

また、大口なものではwalkwalkマップ版製作費として60,000円。デザインやイ

ラスト制作等を併せて依頼しているものである。

(委員) 「しお風」の過去の交付金は、令和元年度は200,000円、平成30年度は128,888円、平成27年度は126,910円交付されている。今回の実績報告の課題で「会の中心人物の高齢化」と書かれており、過去から運営する中でクリアできなかったのか、ということが疑問である。今後も課題解決は厳しいのかなというのが個人的な意見である。

(委員) 平成27年度は組織基盤強化の視点ではなく、事業助成であったかと思う。

(委員長) 組織基盤強化の視点に移っても、事業に対して交付しているので、同じことなのかと思う。ひとつ気になったのは、報告書の「5. 今後の団体の継続性や発展性」という視点から次年度以降の計画(取組み)だが、毎回、同じような書き方である。二宮の町づくりに貢献度が高く、マスコミにも取り上げられているので、町民活動推進委員も今後気にかけていくべきだと思う。

この団体は交付回数を終了している。今後如何に我々がサポートしていくかを考える必要がある。

(委員) この報告書に書かれているものはコロナ禍の前の状況なので、今後益々運営が厳しくなってくると思う。しかし、良いことをやられているので、何らかのサポートや意見を伝えられる仕組みがあると良いと思う。このまま終わってしまったは勿体無い。

(委員) 今後、団体に伝わると良い点をひとつ。「4. 組織基盤の整備や強化に対する自己評価と今後の課題」のところで「若い世代を取り込む必要があります」「町や観光協会、商工会、東京大学果樹園跡地協議会などとの連携も必要だと思います」と書かれていますが、少々他人事のように感じ取れる。『だから、どうする』というのを考えていただきたい。

また、「東大跡パラスポーツの会」だが、新たな交付金を探すこともやられているかと思うが、単年度で見るとお金が余ってしまっている。次年度への活動費と推測されるが、会の運営は大丈夫なのか心配である。自己資金で活動を続けるのは難しいが、多方面で連携して活動していただきたい。

(委員長) 次年度への活動費をちゃんと残すということも、団体の経営上は必要である。全て収入・支出の差し引きが0円にしなさいとは、言いたくない。何か良い仕組みがあればとは思っている。

(委員) 皆さん活発な活動をされているのがよく分かった。それにはボランティア育成が課題であり、団体の活動を広く知ってもらうことが大事かと思った。そういった点では、私が携わっているタウンニュースでも地域の皆さんに情報をお伝えできるのではと考えている。

(委員長) では、以上で議題1は終了する。

## (2) 令和2年度町民活動推進補助金交付団体の実績報告について

(事務局説明) ～「にのみやこども食堂便」弁当代の変更について説明～  
当初予算では事業者からの弁当買い取り費用は、普通盛 300 円、大盛 400 円であったが、事業運営する中で「この金額だと厳しい」ことが判明し、普通盛 400 円、大盛 500 円に変更となった。

― 町民活動推進補助金交付団体活動現場確認報告を豊田委員より報告 ―

- ・こども食堂に携わっていた方の経験やノウハウがあったので、実施可能であったと思う。
- ・大きな町だと全域的にやるのが難しいが、二宮町は丁度良い規模と思われる。
- ・人と人との繋がりがうまくできている、ということを感じた。

(委員) 総配布個数が書かれているが、配布の「世帯数」も重要になると思う。

(事務局) 世帯数の報告を受けていないので、お答えできないが、多くの場合はこの1ヵ月間ずっと継続して注文、ということは聞いていないので、世帯数は多いものかと思う。

(委員長) 何世帯くらいにアクセスできたのかを聞いてほしい。

(委員) 収支決算書で繰越金が 68,024 円ある。  
そもそも今回 1,000 食を想定していたが、849 食に留まった。これは 1,000 食していたら、もっと大きな額になる。予算の段階で見積もりが甘かったのかと思う。

(委員長) 収入の「生き生き市民基金」の 20 万円が想定外だったのかと思う。申請時にはまだ 1 期だけだったが、2 期は事業を実施している中で新たに出てきた。それで

基金の合計収入が 20 万円になった。そういった背景があり、製造事業者を圧迫させるわけにもいかないの、本来のお弁当代金に戻したのではないか。

(事務局) お弁当の買い取りが当初の予算通りにいかないというのは最初の頃に分かったことのようなのである。300 円、400 円での買い取りが 400 円、500 円にならざるを得なかったと同時に、「生き生き市民基金」も 10 万円だけ貰う予定であった。そうなる赤字になってしまうので、メンバーの持ち出しでやらざるを得ないという考えで活動していた中、活動の終わり頃に「生き生き市民基金」の 2 期目が貰えるということが判明し、これで会計がプラスになったものである。

(委員) 学校給食が再開している限り、こども食堂事業を再開しないのであれば「次期繰越金」は無いかと思う。

(事務局) 団体としては現在フードパントリーを行っている。

(委員) そうだとしたら、何故ここで決算をうってしまったのかが分からない。

(委員長) 他の活動も含んで 20 万円の基金を貰っているようである。

(委員) それであれば決算としては少々おかしい。

(委員長) 少し整理した方が良い。

(委員) 支出の宅配費用で 100,000 円の予算が、決算では 18,000 円と大幅に減額していて、かなり団体として無理をしたのかと思う。かかった人件費はしっかり払ってあげた方が良い。

(委員) 支出の対象経費に○が付いているもの「宅配費用」と「宅配とりまとめ費用」を足すと 43,000 円となり、補助額の 50,000 円を下回っている。

(事務局) 事務局の確認漏れである。

当初予算の充当先と決算額の充当先を変更することは要綱上、認められているので、報告書を提出された時点で、団体と調整し、お弁当買い取り費などに充当先を追加させるべきものであった。

(委員) 提出された報告書の支出「お弁当買い取り費」の充当にも○を加えてほしい。

(事務局) 修正しておく。

(委員) 夏場の食べ物はとても危険であるが、万が一の時はどこが責任をとるのか。

(委員) お弁当を作った事業者の責任になる。

(委員長) コロナ禍の混沌とした中での申請であり、団体も努力していただいている。書面の確認漏れがあったので、その点は注意していきたいと思う。

### (3) 町民活動推進補助金交付団体现場確認について

#### ― 事務局説明、現場確認日のスケジュール決定 ―

(委員長) これで議題3までが終わった。その他何かあるか。

(事務局) 次回の委員会開催日を決めたいと思う。

(委員) 次回の議題は何か。

(事務局) 補助金募集スケジュールについて議論を頂きたい。また、町民活動団体から新規でスタート支援が提出される可能性がある。それと、町民活動現場確認について「地域SNSカナナカ」の活動現場が確認できる状態になっていれば、本日のように割振りをしたいと考えている。

### (4) その他

次回開催日 令和2年10月26日(月) 18:30から

## 4. 閉会